

歌、ダンス、手話。
ダンサー発のアーティストが、
世界を変える。

HANDSIGN

I will be your ear. I become one of you.

湘南発のアーティストとして、歌とダンス、さらになんと手話を取り入れたパフォーマンスで活躍しているHANDSIGN(ハンドサイン)。さまざまな公共イベントに携わるかたわら、実話を元にしたドラマ仕立てのMVが1,100万再生を突破し映画化されるなど、近年注目度が高まっている。そんなダンサーからアーティストへと活躍を広げていった彼らの軌跡に迫るインタビューをお届けしよう!

取材・文=長濱佳孝
text by Yoshitaka Nagahama
写真=井上治
photography by Osamu Inoue

HANDSIGN PROFILE

SHINGO、TATSUの2人からなるアーティスト・デュオ。出身地湘南を中心にダンサーとして活動し、手話を取り入れたパフォーマンスでN.Y.アポロンシアター「アマチュアナイト」優勝。その後、海外支援活動を経て音楽活動を開始し、歌、ダンス、手話が融合したパフォーマンスが話題になり、さまざまな公共福祉活動に招聘される。実話を基に制作した「僕が君の耳になる」のMVはYouTubeで再生回数1,100万回を突破し、映画化もされている。